

QRコードを活用した輸出データプラットフォーム実証事業 最終報告書(要約版)

2025年3月26日

株式会社WAND



1.要約: WAND 会社概要



会社名： 株式会社WAND （カブシキカイシャ ワンド）

英名： WAND Co., Ltd.

所在地： 東京都中央区築地 6－2 3－7

設立： 令和3年（2021年）4月14日

代表者： 代表取締役会長 木内 博一
代表取締役社長 大竹 康弘
取締役 木田 久喜

主要株主： 東京促成青果株式会社、株式会社和郷
共同開発： 株式会社デンソー

事業内容：

- ・ 青果物及び加工食品の受託販売及び購入販売事業
- ・ オートメーション化、デジタル化などを最大限活用した青果及び食品流通の効率化とその運営事業
- ・ データプラットフォーム事業

◆背景

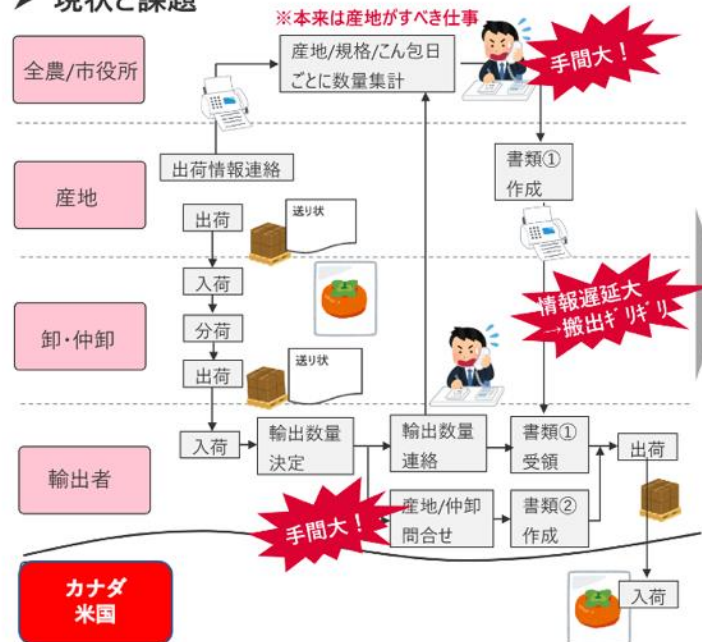
WAND及びWANDの主要株主である和郷は、自動車産業で培った技術やノウハウを農業及び食産業で活用することを次の事業の柱とすると宣言している株式会社デンソー（本社：愛知県刈谷市昭和町1-1）と2021年5月よりパートナーシップを組み、同社が開発し世界中に普及をさせた「QRコード」を活用した「青果流通プラットフォーム」の開発に着手した。

また、WANDの主要株主の東京促成青果の協力のもと、JAや小売業を巻き込んだ青果流通プラットフォームの実証を開始しており、QRコードを活用することで、倉庫内や物流現場の、いわゆるITリテラシーの低い方々にも簡単に使っていただくことができ、導入のハードルを下げることで普及がスムーズにいくという感触を実証の中で受けており、今回の「輸出プラットフォーム」も、これらのノウハウや技術が活用できると考えている。

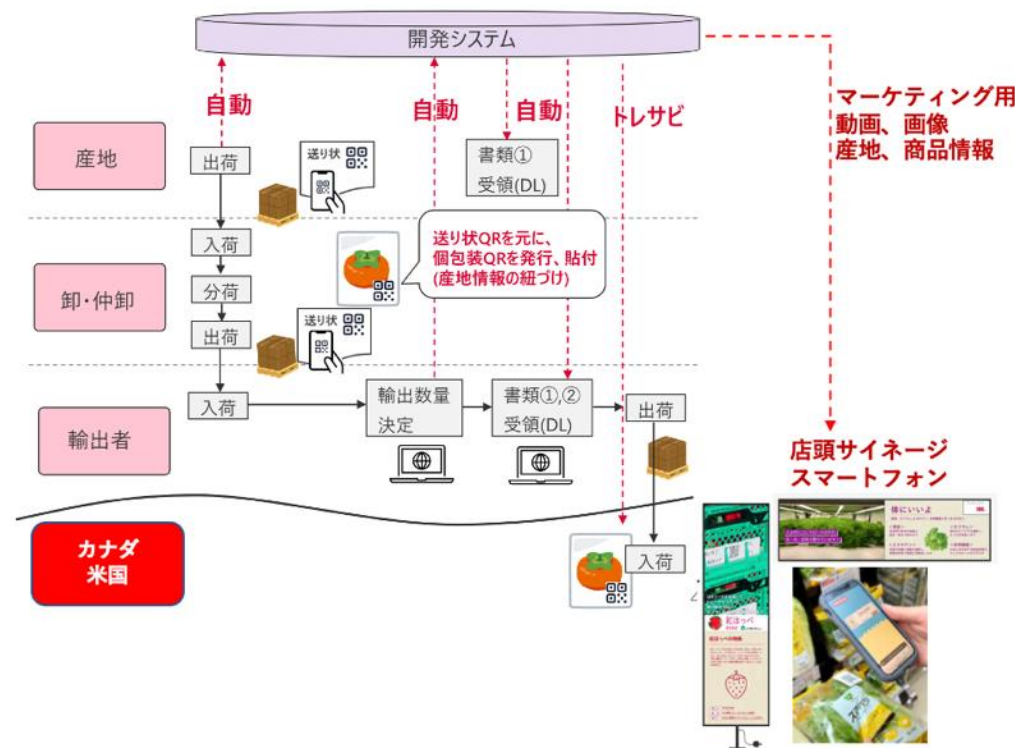
「QR輸出プラットフォーム」活用による継続的な輸出促進を推進

- ① 輸出書類作成に係る作業の効率化（事務作業DX）
- ② 青果物、各地域の商品の品質管理/偽装品対策（トレサビの確保）

現状と課題



実証システム



日本各地の中堅・中小企業の多くは輸出時のさまざまな煩雑な対応について、余裕を持った対応ができず、結果として乗り越えるべきハートルが思いの外高く感じられる傾向にある。その障害をできるだけ取り除くことができる一つの方策として、世界中で普及をしているQRコードを、そのデータ化の入り口であり鍵として活用をし、まずはユーザーフレンドリーな形で導入を進めていく。

また、検疫、通関などを含め、書類のやり取りも煩雑となることもあり、それらの書類の在処などを探すだけでも、大変な手間になることが多く、そのために、貨物や商品にQRコードが紐付き、そのQRコードを読み込むことで、そこに紐ついていてデータが探し出せるだけでも、多くの手間やコストを省くことができ、それらに対するニーズは大変高いと推察される。

最終的には、それらのデータを統計データなどに二次活用することも可能となる。

仕組みの概要

本プラットフォームは、日本国内で推進している「青果流通プラットフォーム」に輸出機能を追加するもの。

QRコードを活用したデータプラットフォームであり、以下の主要機能を備える予定で開発を行う：

1. トレーサビリティ管理の効率化

- 商品の流通経路や品質管理情報をQRコードを通じて一元管理。

2. 書類作成の自動化

- 貿易業務に必要な書類をシステムが自動生成し、業務負担を軽減。

3. 輸出コスト削減の可能性

- 輸送時のデータ共有や効率的な管理によりコスト削減を目指す。

4. 消費者向け情報提供（QRコード）

- QRコードを通じて消費者が商品情報を直接取得可能。

これらの機能は、輸出業務の効率化と透明性向上を目的とし、現地市場での信頼性を高めることを目指している。

-プロジェクトの内容と検証結果-



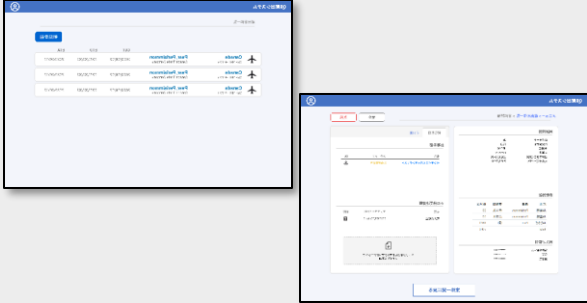
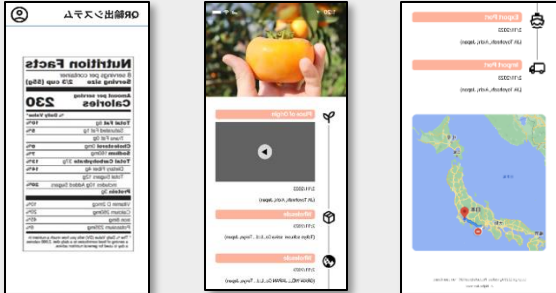
トレーサビリティ機能

シップメント状況共有機能

商品情報
クーポン
レビュー

バイヤー
管理画面

ヒアリングにより本事業中に改善を行った事項

	トレーサビリティ機能	シップメント状況共有機能	商品情報
画面イメージ			
コメント	- トレサビ情報をすぐに確認できるのはインシデント発生時に非常によい - 登録画面はシンプルで操作数が少ないため、負荷が少なそう	- インボイスが共有できるのはフォワダーからすると助かる - 輸出商社側での変更発生がわかるようになることにより	- 原材料やトレサビ（どこを経由してきたか）について、あまり興味がないので不要 - 消費者にとってわかりやすいメリットとなる機能がほしい - バイヤーの機能はないのか？ 輸入だと時期がずれるのでリマインドしてくれるような機能がほしい
改善案	良好なため特になし	フォワダー側で変更案件がわかるように案件一覧で青字にする	- 商品情報は魅力を伝えるような内容にし、口コミやクーポンを表示するなど消費者にとって嬉しさのある機能を追加する - バイヤー機能を追加する リマインダ機能、引き継ぎ機能

1. 課題

- ① 検疫、関税、その他輸出先の国の規制などを日々UPDATEしてプラットフォームに反映をしていくことが、本プラットフォームの普及には重要。また、その使い勝手の良さなども重要なポイントとなる。
- ② 品質関連及び原産地関連のトレーサビリティは、輸出者、輸入者双方ともで必要と考えており、また品質が保たれる環境で輸送・保管されている状況把握のためのロガーなどの設置、データ蓄積、読み取りなどは今後必要最低限のことと感じている。そのためのビジネスモデル（特にそのコスト負担を誰が負担していくのか）については早急に検討をし、アプリケーションの開発に乗り出すべき。
- ③ 海外の小売サイドからは、店頭での販売促進活動を進めるために、この輸出プラットフォームは活用の価値があるものと期待している。このプラットフォームを普及させるためにも、その「小売の販売促進との連携」を検討していく必要がある。その際、小売側のデータベースあるいはPOSレジとの連動という障壁を超えていく必要がある。

1. 改善点

- ① JETRO様のHP等検疫やその国の規制に関するデータ連動、船会社、通関業者等とのデータ連携を行っていければと考えている。弊社がデンソーと開発していくシステムでは、その接続に必要なAPIを開発することが必要となる。また、農水省が運営している食品規則チェックサイト「OMARS」は、これから輸出する企業向けのサイトとなっており、このサイトとの連携なども積極的に模索していくべきであると考えている。
- ② 品質管理関連のアプリケーションとして、温度、湿度等の輸送保管状況のログデータを撮るものは基本的なサービスとして開発を検討したい。そのコスト負担は、食の安心安全を担保するものとして、商品価格に添加していくべきものであり（最終受益者負担が原則）、そのためにも、無駄なコストがかからないアプリケーション開発をしていかなければならない。
- ③ 海外の小売業のプロモーション連携できる案をいくつか考えること、また、技術的に簡易にデータベースの連携ができるAPI等の開発を検討していく。店頭プロモーションを行うためのデータ連携の作業の手間を嫌がる企業は多いと推察されるため（日本国内でもそのような傾向有り）、できるだけシンプルで簡易に運営できるプロモーション施策案と、同じくできるだけシンプルで簡易にデータ連携できるシステム再度の設計を行なっていく。

1. 課題

- ① 海外への輸出を考えた際に、輸出先の最新の規制情報などを調べる手間がかかるが、その手間を惜しまないメンタリティーを持つ、海外への輸出に強い興味を持つ人材の確保。
- ② 同じように、輸出先の市場のデータや消費者の動向等、いわゆるマーケティングに必要な情報を的確に捉えていき、かつ自社の輸出用商品開発などのプロジェクトを立ち上げ、マネジメントしていける人材の確保。
- ③ 輸出向けの商品開発を行う会社としての予算の確保、及び3－5年等の中期に渡るプロジェクト化する企業方針の決定と計画（投資を含む事業計画）の策定。
- ④ 上記①、②及び③をサポートするデータベースやアプリケーションの開発。

1. 改善策

- ① 輸出市場の拡大は、日本食やその文化への興味の高まりを勘案しても間違いないものである。しかしながら、国によりその規制などはそれぞれであり、また、その規制自体が政治的な要素でも頻繁に変わることを想定して対応すべきものでもあり、農水省のOMARSやJETROのHPのみならず、各国の関連省庁に直接アクセスして確認をする等ができる人材がいるに越したことがないが、少なくともそれらの情報に簡易的にアクセスできるようなプラットフォームや、それらを簡易的かつ安価で利用できる仕組みを開発し、その人材のハードルをできる限り低くしていくことで、より海外展開のハードルは低くなっていく。
- ② 輸出先現地のマーケティングに必要な市場データや消費者動向なども、各国別でプラットフォーム化していくことで、よりそれらの情報にアクセスしやすい環境を整備することが必要である。
- ③ 規制の壁、マーケティングの壁を乗り越え、トライアンドエラーを繰り返しながら的確な商品開発ができることが、輸出を拡大する近道でもあり、それらを企業の規模として投資という位置付けで予算化し、事業計画に落とし込んで推進していくべきである。そのサポートとなるプラットフォームサービスの開発を行なっていきたいと考えている。

本件に関する連絡先

株式会社WAND

お客様ご対応窓口

E-mail: info@wandjp.com